

## 令和5年度 津久井支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時	令和5年11月14日（火） 9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立津久井支援学校 3階 会議室
出 席	学校運営協議会委員9名 事務局8名
問合せ先	副校長 藤原 英明 電話 042-684-4872（直通）
<p>1 校長挨拶</p> <p>学習指導要領学習会等に基づいた授業の充実を進めてきました。その成果と課題について報告したいと考えています。忌憚のないご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>2 会長・委員挨拶、地域の状況等共有</p> <p>3 学校評価部会（保護者・教員・生徒アンケート結果）について 副校長より報告</p> <p>4 学部の取組について 小学部・中学部・高等部 各総括教諭より報告</p> <p>5 協議</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">保護者・教員・生徒アンケートについて</div> <p>[司会者より]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からのアンケートは今回が初めてとなる。スライドの内容を確認しながら意見を聞いていきたい。ホームページについて、工夫されている点は何か。</li> </ul> <p>[事務局より]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校と比べ、手を加える必要を感じている。情報担当も取り組んでいるが、見やすさ・わかりやすさについて、本校らしさを感じてもらえるように取り組んでいる。今後も他校を参考にして改善を図りたい。</li> </ul> <p>[司会者より]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立は保護者の関心が高いため、アップされているのをよく目にする。</li> </ul> <p>[委員より]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の施設では、フェイスブックで発信している。情報が停滞しないようにすることが大切である。フェイスブックの更新は手軽にできる。ホームページにリンクを付けて、活動を紹介しているので参考にして欲しい。</li> </ul>	

- ・本校では、市の共通の形式で発信している。情報担当は学級担任をしているので授業を写真で記録しにくい。旬な情報の発信に課題を感じており、なるべく授業中の様子を撮影し地域や保護者への発信するように意識している。ただ、写真掲載には気を付けている。机や服装などに名前が出ていないか、顔写真と連動して個人情報を発信していないか、気を遣う。学校のPRと個人情報を守ることの大切さを感じる。

[委員より]

- ・本校のホームページを見ることはほとんどない。
- ・月予定は見ている。自分の子どもを見たいが、全体の写真が多い。親としては自分の子どもが関わっているところを見たいのではないか。ブログ等、ピンポイントで分かる方が良いが個人情報もあるので難しいと思う。

[司会者より]

- ・情報の発信は増えているが、自分から取りに行くことが必要となっている。求めてもらえる情報を準備することが重要となる。限られた職員の中での更新の難しさを感じる。

[委員より]

- ・ホームページについて、職員の中で話し合う機会はあるか。

[事務局より]

- ・職員間で検討できるようなホームページのアンケートは実施していない。職員間での意見交換は大切だと思う。現状は、記事を集めて担当が発信している状態である。

[委員より]

- ・ホームページの発信や周知が難しい。職員からの意見を聞いていく場を作ると改善の情報を得ることができる。保護者のニーズを聴き取ることも大切である。外部委託等も考え、連携してはどうか。発信する目的を考え、発信後の結果から得られるものも含めて進めていくことが大切である。

## 進路について

[司会者より]

- ・では、進路指導について意見をうかがいたい。

[委員より]

- ・進路については進路指導の中で具体的な進路先を考えることが大切である。今年の卒業生の進路先についてはどうか。学年によって人数等にばらつきの大きい学校だと思うので進路先にもバリエーションがあると思う。保護者との話し合いの中で、多様な進路先の情報発信も必要である。相模原市では進路の情報発信のリストの開示がある。どこかに確認できるようなデータベースがあると良いと思っている。

[事務局より]

- ・昨年度の学校要覧より、卒業生の進路先の概要を説明する。

[司会者より]

- ・学校のデータベースを上手に保護者に伝えていくことは重要である。

[委員より]

- ・施設の概要を示した冊子は現在学校で作成しているか。

[事務局より]

- ・「進路のしおり」を現在も作成し、説明会や面談等で活用している。

[委員より]

- ・以前も毎年、学校側から情報提供や確認を求められた。継続することが大切だと思う。
- ・アンケートにおいて、生徒の3分の1が不満を感じているのは高い数字だと感じる。将来に不安を感じていることへの対応を検討することが大切だと思う。教育との連携では、相模原市の自立支援協議会でも検討がなされており、緑区の部会では、福祉課と教育との関係性の構築について話がされており、そうした連携を図っていくことが大事だと思う。

[司会者]

- ・結果が自分も気になった。質問項目の内容の理解もあると思うが、一定数の答えがある。生徒たちの進路への気持ちを受け止めていく必要がある。企業としての立場からご意見をうかがいたい。

[委員より]

- ・前回の会議後、相談を受け、他の会社（輪ゴムなどの製造）を紹介した。青年会議所のメンバーも同様だが、支援学校で企業の伝手を見つけることは難しい。企業の方でも就労支援を考えている所もあると思う。ホームページなどに募集していることを発信してはどうか。どのような支援が必要か記入したりする等、わかりやすい工夫があると、集まりやすいと思う。

#### 各学部からの報告について

[司会者より]

- ・年間の取組から絞って報告をしてもらった。学部の学習の取組の状況についてご意見をお願いしたい。花植えでの地域への働きかけに対する受け止めはどうか。

[委員より]

- ・学校の行事に関しては回覧版を回すが、その効果はほとんどない。直接の声掛けによるお誘いが大切となる。春の参加は楽しかった。秋は、雨で中止となり残念だった。直接児童が働きかけることは大事で、地域の人たちの参加が望めると思う。

[司会者より]

- ・学習の一環で地域を回ったと思うが受け止める方の気持ちも動かすことができたと思う。地域は広いのか。

[事務局より]

- ・子どもたちが歩いていくことのできる範囲は限られる。毎週の校外歩行などを利用して、花植えだけではなく学校を知ってもらう活動をしたい。

[委員より]

- ・学校の通学路も含まれるが、地域清掃を年2回実施している。これに加え4・10月あたりの生徒の清掃活動に合わせて地域に声をかけてもらえたら、それに参加したい。そうすれば年に4回の地域の清掃ができて有難い。多くの参加は期待できないがそれでも良い。

[事務局より]

- ・熊出没の問題もあるため、季節を考えて計画を進めたい。

[司会者より]

- ・落ち葉清掃は季節があるが、計画を進めてほしい。

#### 学習指導要領学習会や教科会を生かした授業実践について

[司会者より]

- ・特別支援学校の学習指導要領は膨大で解説本の情報量も多い。全体での学習会の進捗はどのようになっているか。

[事務局より]

- ・昨年度より開始し、配慮事項等の説明のある総則編を確認している。学習指導要領の内容に沿って教育課程を編成することが前提となるが、一人ひとりの障害に合わせた指導計画の工夫も必要である。約350ページのうち重要な部分を確認し275ページまで進めている。

[委員より]

- ・版画作品は素晴らしかった。掲示や応募についての取組はどうか。

[事務局より]

- ・夏休みのコンテストなどに応募している。公募で入賞する生徒もいる。外部の人との協働活動の計画もある。

[委員より]

- ・取組を継続してほしい。文化祭など地域の展示の機会はどうか。

[事務局より]

- ・「さがみ風っ子展」等での紹介の機会がある。

[委員より]

- ・素晴らしい作品なので、地域のイベントなどへ参加してほしい。子どもの作品は魅力のあるものが多く、成果物を地域の方に見てもらえる機会は大切である。
- ・書画カメラ等、楽しみながら学ぶ工夫が良かった。ストレングス（本人の持っている力）を活かしていくことが大切だと感じた。学習指導要領について、指導計画の作成について具体的に知りたい。

[事務局より]

- ・特別支援学校では、教科のそれぞれで年間の計画を立てる。また、一人ひとりの児童生徒に対しては、個別の教育計画を立てることが義務付けられている。個別教育計画では、指導の配慮点をおさえる。本校では、それに基づいて教育の目標3点を決めて取り組んでいる。

[委員より]

- ・福祉では、福祉サービスの提供について計画を立てる。保護者と本人に説明して行う。教育ではどうか。

[事務局より]

- ・教育機関では「個別の支援計画」を作成する。神奈川では「支援シート」という名称になっている。保護者などからの情報をベースに支援計画を立て、指導計画を立て、保護者の了解を得ながら進めている。

[司会者より]

- ・福祉のケアプランとつながる部分の取組がある。

[委員より]

- ・グループホームで生活する35歳の利用者が、文章を書くことができることがつい最近分かった。学校を卒業する時には、その能力の評価はなかった。保護者からの情報はもらっていたが、文字は書くということまでであり、今更ながら文章で表現できることに驚いている。我々としては、日々色々と試しながら確認をしていくしかない。我々も個別計画を合意のもとで作成し、指導体制をとっているが、こうした例からも、評価は難しいと感じている。

[司会者より]

- ・学校でもアセスメントを活用し、計画を作っているが、持てる力を発揮させているかは話を聞いてよく理解できた。学校の中でいろいろな機会を作り、力を発揮させていきたい。

[事務局より]

- ・学校は「わかる・出来る」の積み重ねが使命だと感じる。児童・生徒の生活を豊かにしていくことに学校教育の中でどう取り組んでいくのか。横への広がり、実感から湧いてくるもの、体験等が大切となる。教員たちもそれを大切に取り組んでいる。今後に生かしていきたい。

[司会者より]

- ・横に広げていく部分がこの会議の中で取り組めるところだと思う。

## 9 校長挨拶

皆様のご意見・ご提案に感謝しています。学習指導要領の学習会では、教員にとって学校指導要領が基になって日々の指導があるということの理解が進んでいます。また、教科会は教員同士がざっくばらんに話し合える場が必要と考え始めました。毎回、教員の活発な意見交換を耳にします。授業例を2本立てで報告しましたが、児童・生徒の学びの保障に結びついていることを実感しています。

医療的ケアの児童・生徒は数名おりますが、本校の特徴は教員の中に看護師が授業に入っ  
て一緒に授業を行っていることです。今後も医療的ケアを実施しながら学びの場が途切れな  
いようにしていきたいと思ひます。

前向きになれる意見をもらひ感謝しています。また新たなアイデアが湧き上がってくる  
のを感じます。引き続きよろしくお願ひいたします。

### 【配付資料】

- 令和5年度 第3回学校運営協議会 開催要項
- 令和5年度 学校運営協議会 委員名簿
- 令和5年度 学校評価報告（目標設定）
- 令和5年度 学校評価（中間評価）保護者・教員・児童アンケート結果
- 令和5年度 学部の目標・達成状況・今後
- 令和5年度 つくいだより（NO.6）